

●経理上手くんα【社会福祉法人】Version:10.901

●経理上手くんαクラウド ProⅡ【社会福祉法人】・経理上手くんαクラウド SE ProⅡ【社会福祉法人】Version:10.901

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“社会福祉法人 d b (VERSION:10.901) の変更点”を参照してください。

❗注意

- 他の I C S システムとマスターのやり取りを行われる場合は、他の I C S システム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:10.901) の変更点

改 良

I. 登録・入力

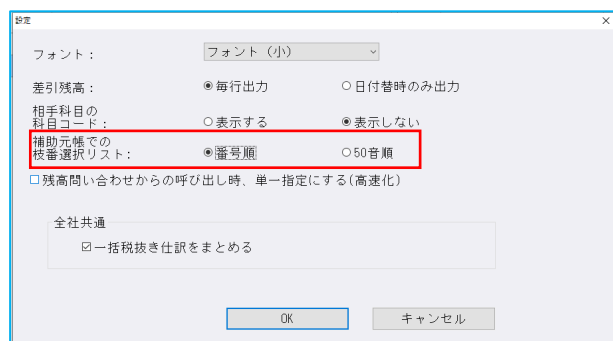
1) 仕訳入力

- ①仕訳入力の「F7 定型伝票」で、定型仕訳登録の改良に伴う対応を行いました。
- ②伝票入力タブで入力中、「F11 伝票登録」を押す前に「F8 仕訳検索」にて伝票種別のいずれかにチェックを付けて検索した場合、未登録の伝票が破棄されることの注意メッセージを表示するようにしました。
“「仕訳登録」が行われていない伝票があります。伝票入力に戻りますか？いいえの場合、その伝票は破棄されます。”



2) 元帳検索

- ①補助元帳のとき、枝番を 50 音順に表示できるよう対応しました。
仕訳修正タブの「F6 設定」に「補助元帳での枝番選択リスト：番号順／50 音順」を追加しました。



3) 残高問い合わせ

- ①「比較残高・比較貸借・比較損益タブ」 「残高・発生の無い枝番を出力する」OFF 設定時に、部門枝番が前期、当期の金額がともに 0 円の場合は非表示にするように対応しました。

4) 科目設定・残高登録

- ① (収支) 枝番残高登録タブ内に「枝番複写」ボタンを新規追加しました。
1科目に登録済みの枝番を他の1科目に複写できるように対応しています。

複写元になる科目を選択して「枝番複写」ボタンを押下します。

複写先の部門・科目を選択します。(複写元も変更可能)

複写元から複写する枝番を選択します。(Shift+範囲、Ctrl で個別指定可能)

「⇒」ボタン押下で複写先へ移動し、「複写開始」を押下すると複写されます。

- ・「枝番消費税区分を複写する」が ON の場合は消費税区分も複写します。
- ・複写先に重複する枝番コードの枝番が登録されている場合はマークがつき、「複写先枝番を確認する」ボタンを押下することで複写先の枝番登録状況が確認できます。

複写先の枝番は、以下のように登録済みです。

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	いちばん		イチ	課税		8.0%
0002	にばん		ニ	課税		10%
0003	さんばん		サン	課税		10%

閉じる

※「複写先枝番を確認する」画面

- ・複写先に重複する枝番がある場合確認メッセージを表示します。

上書き確認

 複写元と同じ枝番[0001]が既に存在します。
上書きで複写してもよろしいですか？

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
複写前						
0001	いちばん		イチ	課税		8.0%
↓						
複写後						
0001	1 1 月分		イチカ	課税		10%

はい(Y) スキップ(S) キャンセル

☐ 同じ処理を残り2個の枝番に適用(D)

「はい(Y)」：上書きで複写

「スキップ(S)」：当枝番を複写しないで次へ

「キャンセル」：複写処理を中止

複写完了

スキップしたものがあればスキップ*件

科目設定

 枝番の複写が終了しました。
新規登録 2件 上書き登録 3件

OK

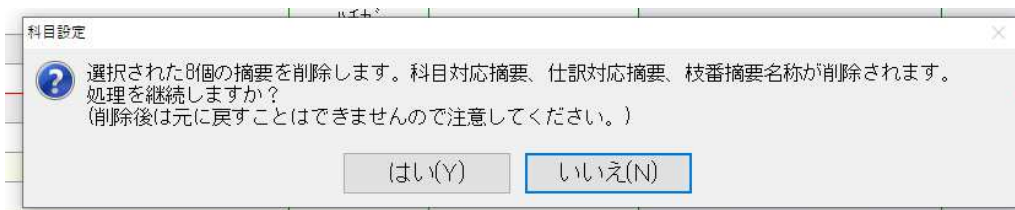
②摘要辞書登録で範囲を指定して一括削除できるよう対応しました。

Shift+範囲、Ctrl で個別指定によって複数行を選択後、削除ボタン押下で複数行一括削除できるように対応しました。

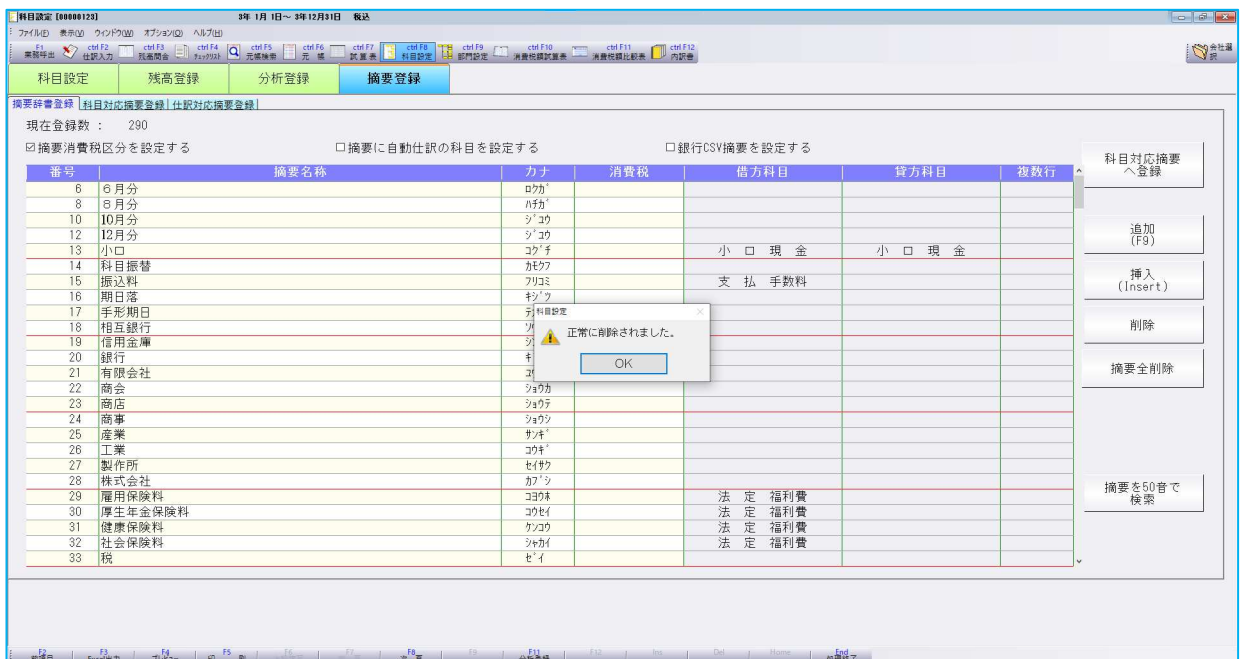
Shift+範囲、または Ctrl で個別指定。その後「削除」ボタンを押下します。



下記のメッセージボックスを表示します。（初期値は「いいえ(N)」）。
「はい(Y)」押下で削除開始します。



「OK」押下で削除が完了します。



③摘要辞書／摘要仕訳編集

- ・枝番欄で、0003 と 4 桁で入力する必要があったのを 1 桁で入力できるようにしました。

④原則課税：個別対応の場合は、消費税額比較表の「他の課税方式と比較する」の設定にかかわらず、棚卸科目の仕入区分列を変更できないようにしました。

科目名称変更 科目設定・変更 科目順変更 出力用特殊名称										
科目消費税区分を設定する					入力区分一括変更		科目検索	入力表示科目の設定		
番号	属性	科目名称		カナ	コード	摘要	課税区分	仕入区分	税率	入力区分
193		期首商品棚卸高	棚卸高	キョウシカ	0611		---	---	---	---
194		期首商品棚卸高	棚卸高	キョウセカ	0612		---	---	---	---
195	仕入	仕入高	1	シタカ	0550	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
196		仕入高	2	シタカ	0551	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
197		仕入高	3	シタカ	0552	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
198		仕入高	4	シタカ	0553	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
199		仕入高	5	シタカ	0554	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
200		仕入高	6	シタカ	0555	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
201		仕入高	7	シタカ	0556	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
202		仕入高	8	シタカ	0557	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
203		仕入高	9	シタカ	0558	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
204	仕返	仕入高引		タシタ	0559	課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
205		仕入高引		シタ社	0615	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
206		仕入高引		シタモ	0616	24 課税	基本設定	10.0	標準(内)	---
207	経費	期末商品棚卸高	棚卸高	キョウシカ	0617		---	---	---	---
208		期末商品棚卸高	棚卸高	キョウセカ	0618		---	---	---	---
209		期末商品棚卸高	棚卸高	キョウセカ	0711	6 不課税	---	---	---	---

5) 資金科目・予算・予備費関係登録

①予算・予備費登録タブに当期の補正後予算を表示する列を設けました。

- 当対応により全体的に画面レイアウトを変更しました。
- 期選択の右にチェックボックス「当期補正後予算列を表示する」を追加しました。
 - ・チェック ON で当期予算の右側に「当期補正後予算」の列を追加し黄色で表示します。
 - ・当期予算は当初予算の金額を表しています。
 - ・当期補正後予算額 = 当初予算額 ± 補正予算額 ± 科目予算流用額 ± 予備費流用額となります。
 - ・当期補正後予算列は参考表示させるのみで、上から打ち替えることはできません。

【当期補正後予算列を表示する = ON】

資金科目・予算・予備費関係登録 (22602801) 社会福祉法人 KOSサンプル 4年 1月 1日 ~ 4年12月31日 概算									
資金科目範囲設定					予算・予備費登録				
☐ 月別予算入力					☒ 当期補正後予算列を表示する				
部門 1: 部門 1					予備費 0				
全体予算へ転送					予備費使用額合計 0				
コード	科目	前期予算	当期予算	当期補正後予算	末期予算				
0401	施介護報酬収入 *	1,000,000	1,100,000	560,000	1,200,000				
0402	施利負担収/公 *	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,300,000				
0403	施利負担収/一 *	1,200,000	1,300,000	1,500,000	1,400,000				
0404	居介護報酬収入 *	1,300,000	1,400,000	1,700,000	1,500,000				
0405	居介護報酬収入	0	0	0	0				
0406	居介護報酬収入/公	0	0	0	0				
0407	居介護報酬収入/一	0	0	0	0				
0408	居介護報酬収入/公	0	0	0	0				
0409	居介護報酬収入/一	0	0	0	0				
0410	地介護報酬収入	0	0	0	0				
0411	地介護報酬収入	0	0	0	0				
0412	地介護報酬収入/公	0	0	0	0				
0413	地介護報酬収入/一	0	0	0	0				
0414	地介護報酬収入/公	0	0	0	0				
0415	地介護報酬収入/一	0	0	0	0				
0416	居介護支援収入	0	0	0	0				
0417	介護支援収入	0	0	0	0				
0418	施設サ利用収入	0	0	0	0				
0419	居サ利用収入	0	0	0	0				
0420	地サ利用収入	0	0	0	0				
0421	食費収入/公費	0	0	0	0				
0423	食費収入/一般	0	0	0	0				
0425	居住費収入/公	0	0	0	0				
年間予算合計		-4,600,000	-5,000,000	-5,060,000	-5,400,000				

* ... 流用、補正入力有り

※チェック ON 時の施介護報酬収入～居介護報酬収入の金額表示

コード	科目	当期予算	当期補正後予算
0401	施介護報酬収入 *	1,100,000	560,000
0402	施利負担収/公 *	1,200,000	1,300,000
0403	施利負担収/一 *	1,300,000	1,500,000
0404	居介護報酬収入 *	1,400,000	1,700,000

※金額内訳

コード	科目	当期予算（当初予算）	補正予算	科目予算流用			当期補正後予算
0401	施介護報酬収入	1,100,000	1次	10,000	02/01	施利負担収／公	-100,000
			2次	20,000	05/01	施利負担収／一	-200,000
			3次	30,000	08/01	居介護報酬収入	-300,000
0402	施利負担収／公	1,200,000	1次	0	02/01	施介護報酬収入	100,000
			2次	0			
			3次	0			
0403	施利負担収／一	1,300,000	1次	0	05/01	施介護報酬収入	200,000
			2次	0			
			3次	0			
0404	居介護報酬収入	1,400,000	1次	0	08/01	施介護報酬収入	300,000
			2次	0			
			3次	0			

【当期補正後予算列を表示する=OFF】※従前どおり

資金科目・予算・予算内訳登録 [22082501] 社会福祉法人 ICSサンプル 4年 1月 1日 ~ 4年 12月 31日 概算

資金科目範囲設定 予算・予備費登録

月別予算入力 ☐ すべて ☐ 当期補正後予算列を表示する

予備費

予備費使用額合計

科目検索

コード	科目	前期予算	当期予算	来期予算
0401	施介護報酬収入 *	1,000,000	1,100,000	1,200,000
0402	施利負担収／公 *	1,100,000	1,200,000	1,300,000
0403	施利負担収／一 *	1,200,000	1,300,000	1,400,000
0404	居介護報酬収入 *	1,300,000	1,400,000	1,500,000
0405	居介護報酬収入	0	0	0
0406	居介護負担収／公	0	0	0
0407	居介護負担収／一	0	0	0
0408	居介護負担収／公	0	0	0
0409	居介護負担収／一	0	0	0
0410	地介護報酬収入	0	0	0
0411	地介護報酬収入	0	0	0
0412	地介護負担収／公	0	0	0
0413	地介護負担収／一	0	0	0
0414	地介護負担収／公	0	0	0
0415	地介護負担収／一	0	0	0
0416	居介護支援収入	0	0	0
0417	介護予防収入	0	0	0
0418	施設サ利用収入	0	0	0
0419	居サ利用収入	0	0	0
0420	地サ利用収入	0	0	0
0421	食費収入／公費	0	0	0
0423	食費収入／一総	0	0	0
0425	居住費収入／公	0	0	0
年間予算合計		-4,600,000	-5,000,000	-5,400,000

* … 流用、補正入力有り

- 各科目に流用額や補正予算額を登録しているかどうかをわかりやすく表示しました。
 - ・流用、補正予算額を登録しているかどうかをわかりやすく表示しました。
 - ・画面下部欄外にガイドメッセージ「*…流用、補正予算有り」を追加しました。
- 当対応に伴い年間予算表、月別予算表にもアスタリスクや欄外の説明文言などを表示させました。

年間予算表

法人名：[22082501] 社会福祉法人 ICSサンプル 期間 4年 1月 1日 ~ 4年12月31日 Page. 1
単位: 円

コード	勘定科目	前期予算	当期予算	当期補正後予算	来期予算
0401	施介護報酬収入 *	1,000,000	1,100,000	560,000	1,200,000
0402	施利負担収／公 *	1,100,000	1,200,000	1,300,000	1,300,000
0403	施利負担収／一 *	1,200,000	1,300,000	1,500,000	1,400,000
0404	居介護報酬収入 *	1,300,000	1,400,000	1,700,000	1,500,000
0660	福利厚生費支出 *	110,000	120,000	140,000	130,000
0661	職員被服費支出 *	120,000	130,000	163,000	140,000
0662	旅費交通／事務 *	130,000	140,000	155,000	150,000
0663	研修研究費支出 *	140,000	150,000	178,000	160,000
年間予算合計		△4,100,000	△4,460,000	△4,424,000	△4,820,000

* … 流用、補正入力有り

月別予算表(当期)

法人名：[22082501] 社会福祉法人 ICSサンプル 【補正後予算】 期間 4年 1月 1日 ~ 4年12月31日 Page. 1

勘定科目	年間予算	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
施介護報酬収入 0401 *	560,000	91,666	1,666	91,666	91,666	88,334	91,666	91,666	178,334	91,666	91,666	91,666	91,674
施利負担収／公 0402 *	1,300,000	100,000	200,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
施利負担収／一 0403 *	1,500,000	108,333	108,333	108,333	108,333	308,333	108,333	108,333	108,333	108,333	108,333	108,333	108,337
居介護報酬収入 0404 *	1,700,000	116,666	116,666	116,666	116,666	116,666	116,666	116,666	416,666	116,666	116,666	116,666	116,674
福利厚生費支出 0660 *	140,000	10,000	30,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
職員被服費支出 0661 *	163,000	10,833	10,833	10,833	10,833	43,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,837
旅費交通／事務 0662 *	155,000	11,666	11,666	11,666	11,666	11,666	11,666	11,666	26,666	11,666	11,666	11,666	11,674
研修研究費支出 0663 *	178,000	12,500	12,500	12,500	12,500	40,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500

* … 流用、補正入力有り

- 月別予算入力時、当期補正後予算列は以下の集計となります。

【年間予算を 12 分割する場合】

- ・当初予算額を 12 分割し、該当月に補正予算額、科目予算流用額、予備費流用額があれば、分割した額に足しこみます。下記の例の 5 月分は、当初予算額 91,666 + 5 月分補正予算額 20,000 - 科目予算流用額 200,000 = △88,334 となります。
- ・さらに「分割(F11)」を行うと、5 月分の補正予算額△180,000 + 7,638 (91,666 ÷ 12 を切捨て) = △172,362 となります。

月別予算入力

科目: [0401] 施介護報酬収入

	前期予算	当期予算	当期補正後予算	末期予算
1月	83,333	91,666	91,666	100,000
2月	83,333	91,666	1,666	100,000
3月	83,333	91,666	91,666	100,000
4月	83,333	91,666	91,666	100,000
5月	83,333	91,666	-88,334	100,000
6月	83,333	91,666	91,666	100,000
7月	83,333	91,666	91,666	100,000
8月	83,333	91,666	-178,334	100,000
9月	83,333	91,666	91,666	100,000
10月	83,333	91,666	91,666	100,000
11月	83,333	91,666	91,666	100,000
12月	83,337	91,674	91,674	100,000
合計	1,000,000	1,100,000	560,000	1,200,000

変更(F12) 分割(F11) キャンセル(ESC)

【年間予算を 12 分割しない場合】

- ・該当月に補正予算額、科目予算流用額、予備費流用額があれば、その額を表示します。
下記の例の 5 月分は、5 月分補正予算額 20,000 - 科目予算流用額 200,000 = △180,000 となります。
- ・さらに「分割(F11)」を行った場合、5 月分の補正流用額△180,000 + 91,666 (1,100,000 ÷ 12 を切捨て) = △88,334 となります。

月別予算入力

科目: [0401] 施介護報酬収入

	前期予算	当期予算	当期補正後予算	末期予算
1月	1,000,000	1,100,000	1,100,000	1,200,000
2月	0	0	-90,000	0
3月	0	0	0	0
4月	0	0	0	0
5月	0	0	-180,000	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	-270,000	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
合計	1,000,000	1,100,000	560,000	1,200,000

変更(F12) 分割(F11) キャンセル(ESC)

6) 定型仕訳登録

① 定型仕訳登録画面で定型伝票の編集処理・登録済みの定型伝票の一覧の並び替えに対応しました。

○ 定型伝票編集画面の機能について

定型伝票のタイプを選択（振替伝票・入金伝票・出金伝票）

定型伝票名称を入力して、作成したい定型伝票名を入力し、その定型伝票の内容を登録します。

○ 登録した定型伝票の順番を入れ替える機能を追加しました。

→ 定型伝票名称リストで、該当の定型伝票を 上移動[F7]・下移動[F8]することで可能です。

【Home 一括変更】

税率の一括変更を行う業務です。

II. 出力

1) 試算表

① 枝番表示のリストで、スペースキーでの ON/OFF に対応。

Ⅲ. 決算

1) 決算書

①計算書類に対する注記「9.有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高」のリスト編集について改良を行いました。

- 「有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高」は、もとは固定資産全般の注記でしたが、平成 30 年改正で限定的となりました。

当システムでは残高がある限り無条件に連動するため、出力から外すには「当期末残高をデータから引用」のチェックを OFF にしたうえで、出力したい科目も出力したくない科目も再登録する必要があります。操作を簡便化するように当対応を行いました。

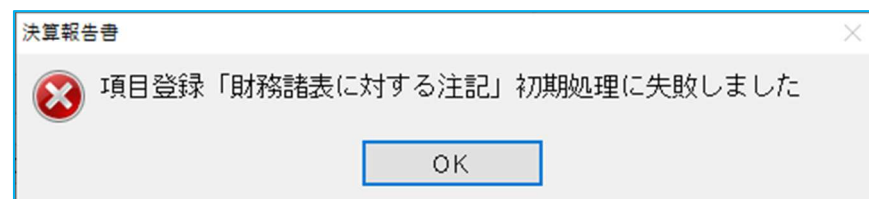
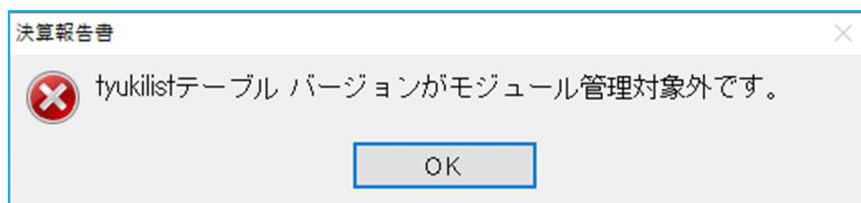
- 「10.債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高」の注記にも同様の対応を行いました。

- 当改良に伴い、マスターごとにバージョンアップが行われます。

バージョンアップ後のマスターを古い環境（VERSION：10.802 以前）で操作した場合、[F6 項目登録]を押した際に下記のエラーが表示され、計算注記タブが表示されないようになります。

必ずバージョンを揃えたうえで、マスターの移動等を行ってください。

※上手くんαとマスターの移動等を行う場合もバージョンを揃えて行ってください。



以下、A～D の動作の内、赤字部分が今回変更箇所となっています。

【A.当期末残高をデータから引用＝ON】

残高のある科目はすべて当期末残高欄へ連動します。

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高			
	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地			1,111,111
建物			2,222,222
定期預金			3,333,333
投資有価証券			4,444,444
土地	5,000,000		5,000,000
建物	5,000,000	500,000	4,500,000
構築物	5,000,000	510,000	4,490,000
機械及び装置	5,000,000	520,000	4,480,000
車両運搬具	5,000,000	530,000	4,470,000
器具及び備品	5,000,000	540,000	4,460,000
建設仮勘定	5,000,000		5,000,000
有形リース資産	5,000,000	550,000	4,450,000
他有形固定資産	15,000,000	1,710,000	13,290,000
権利			
ソフトウェア			
合 計	55,000,000	4,860,000	61,251,110

☒ 当期末残高をデータから引用

OK (End) キャンセル (Esc)

【B.当期末残高をデータから引用＝ON→OFF】

チェックを外した直後に下記のメッセージを表示します。

『データから引用した当期末残高をクリアしますか？ ※手入力した数値はクリアされません。』

※Cの説明のため、3行目（定期預金）を実額にしています。

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地			1,111,111
建物			2,222,222
定期預金			5,555,555
投資有価証券			4,444,444
土地	5,000,000		5,000,000
建物	5,000,000	500,000	4,500,000
構築物	5,000,000	510,000	4,490,000
機械及び装置	5,000,000	520,000	4,480,000
車両運搬具	5,000,000	530,000	4,470,000
器具及び備品	5,000,000	540,000	4,460,000
建設仮勘定	5,000,000		5,000,000
有形リース資産	5,000,000	550,000	4,450,000
他有形固定資産	15,000,000	1,710,000	13,290,000
権利			
ソフトウェア			
合計	55,000,000	4,860,000	63,473,332

□ 当期末残高をデータから引用

OK(End) キャンセル(Esc)

【C.当期末残高をデータから引用＝OFF（Bのメッセージで「はい」を選択後）】

当期末残高は取得価額－減価償却累計額の集計に切り替わります。取得価額と減価償却累計額のいずれも未入力の場合、当期末残高はクリアされ、当期末残高が実額の場合クリアされず緑色で残ります。

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地			
建物			
定期預金			5,555,555
投資有価証券			
土地	5,000,000		5,000,000
建物	5,000,000	500,000	4,500,000
構築物	5,000,000	510,000	4,490,000
機械及び装置	5,000,000	520,000	4,480,000
車両運搬具	5,000,000	530,000	4,470,000
器具及び備品	5,000,000	540,000	4,460,000
建設仮勘定	5,000,000		5,000,000
有形リース資産	5,000,000	550,000	4,450,000
他有形固定資産	15,000,000	1,710,000	13,290,000
権利			
ソフトウェア			
合計	55,000,000	4,860,000	55,695,555

□ 当期末残高をデータから引用

OK(End) キャンセル(Esc)

【D.当期末残高をデータから引用＝OFF（Bのメッセージで「いいえ」を選択後）】

ONのときに連動していた当期末残高はクリアされずに緑色で残ります。

出力不要の科目は、当期末残高欄で Delete キーを押すことで空欄となり出力もされません。

※出力不要科目は取得価額と減価償却累計額のいずれも未入力である前提の説明となります。

入力がある場合は、当該欄の Delete も必要になります。

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地			1,111,111
建物			2,222,222
定期預金			5,555,555
投資有価証券			
土地	5,000,000		5,000,000
建物	5,000,000	500,000	4,500,000
構築物	5,000,000	510,000	4,490,000
機械及び装置	5,000,000	520,000	4,480,000
車両運搬具	5,000,000	530,000	4,470,000
器具及び備品	5,000,000	540,000	4,460,000
建設仮勘定	5,000,000		5,000,000
有形リース資産	5,000,000	550,000	4,450,000
他有形固定資産	15,000,000	1,710,000	13,290,000
権利			
ソフトウェア			
合計	55,000,000	4,860,000	63,473,332

□ 当期末残高をデータから引用

OK(End) キャンセル(Esc)

C も D（出力不要科目の Delete 後）も出力結果は同じになります。

1. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

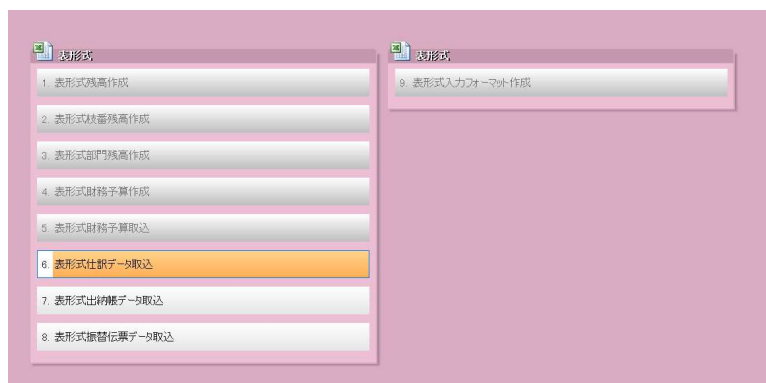
(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地	5,000,000		5,000,000
建物	5,000,000	500,000	4,500,000
構築物	5,000,000	510,000	4,490,000
機械及び装置	5,000,000	520,000	4,480,000
車輜運搬具	5,000,000	530,000	4,470,000
器具及び備品	5,000,000	540,000	4,460,000
建設仮勘定	5,000,000		5,000,000
有形リース資産	5,000,000	550,000	4,450,000
他有形固定資産	15,000,000	1,710,000	13,290,000
合計	55,000,000	4,860,000	50,140,000

IV. 表形式

- 1) 表形式仕訳データ取込
- 2) 表形式出納帳データ取込
- 3) 表形式振替伝票データ取込

- ① ユーザー登録業務「権限詳細」において財務 d b 用の設定を行う際、「仕訳入力可（他者入力閲覧・訂正可／不可）」が O N の時、財務・非営利の表形式内のデータ取込 3 業務を起動できるように変更しました。



- ② 「枝番カナ」「仕訳区分」の取り込みに対応しました。

「枝番カナ」の取込

- ・半角カナ 6 文字まで 7 文字以上はカットします。濁点・半濁点も 1 文字 アイヨウガ→アイヨウ
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っている状態でデータ取込を行った場合、枝番カナが登録済みであるかどうかにかかわらずカナを上書きします。
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っていない状態でデータ取込を行った場合、既存の枝番カナは上書きせず、新規の枝番カナのみ登録します。

「仕訳区分」の取込

- ・仕訳に対して設定することのできない仕訳区分が入力されている場合は仕訳区分なしとして取り込みます。
- また、仕訳区分表に未登録のコードが入力されている場合も仕訳区分なしとして取り込みます。

- ③ d b 振替伝票形式で、摘要項目に半角スペースがある場合、半角スペースを保持して取込むように対応しました。
- ④ 文字列内に「,」があった場合、「,」前で文字列が切れるため、文字列が切れないように対応しました。

- ⑤ 枝番摘要・摘要の文字列に「/」があった場合、「'''」として取り込まれるため、「/」で取り込まれるよう対応しました。
- ⑥ 日付に半角スペースがある場合取込エラーとなるので、半角スペースをカットするように対応しました。

4) 表形式入力フォーマット作成

- ① d b形式の表形式入力フォーマットに「枝番カナ」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。
半角カナ6文字で入力してください。(濁点・半濁点も1文字 ジ (2文字))
- ② d b形式の表形式入力フォーマットに「仕訳区分」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。

例) d b仕訳形式

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	
1	法人																								
2	db仕訳日記帳																								
3	70101 日本ICS株式会社																								
4	自 2年 4月 至 3年 3月 月分																								
5	日付	決修	伝票番号	借方部門	借方工事	借方コード	借方名称	借方枝番	借方枝番カナ	借方枝番カナ	貸方部門	貸方工事	貸方コード	貸方名称	貸方枝番	貸方枝番カナ	貸方枝番カナ	金額	摘要	税区分	対価	仕入区分	売上事種	仕訳区分	シマ
6	2.28					101				1 al株式会社74			511					30000	輸出売上					14	
7	2.28					101							511					20000	非課税輸出売上					5	

仕訳区分コード表

コード	仕訳区分
0 または未入力	なし
1	売上
2	貸倒損失
3	貸倒回収
4	輸入仕入
5	非課税輸出売上
6	販売奨励金費用
7	販売奨励金収入
8	売上割引
9	仕入割引
10	棚卸調整加算額
11	棚卸調整減算額
12	特定収入(非営利法人)
13	特定収入外(非営利法人)
14	輸出売上
22	受取利息
23	仕入
25	経費
30	消費税精算
32	特定課税仕入(本体)
33	特定課税仕入返還(本体)
34	特定課税仕入(消費税)
35	特定課税仕入返還(消費税)
36	輸入消費税(国税)
37	輸入消費税(地方税)
38	輸入消費税(国地合算)
39	完成時振替

修正

I. 導入・更新

1) 翌期更新

- ①部門コードが 0 の部門を共通部門として使用しているマスターを翌期更新すると、「翌期への更新処理中に、エラーが発生しました。配賦基準合計科目の更新に失敗しました。」となる場合があったのを修正しました。（「部門設定」を修正しています。）

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①振替伝票で修正時の複合仕訳の表示を「詰めて表示」の場合に、行挿入すると、複合仕訳の摘要が消えたり、行挿入した別の仕訳に表示されたりと摘要が正しく表示されなかったのを修正しました。
- ②特定の期間のマスターにおいて、伝票入力で月指定バーを全月指定しているにもかかわらず、日付の月が変更できなかったのを修正しました。
例：会社登録の基本会社情報は決算期間：3 年 7 月 21 日～4 年 6 年 30 日、
締日：20 日、入力開始：3 年 7 月 21 日のマスターで、8 月から 7 月に月が変更できなかった。
- ③「枝番選択を 50 音で表示」のチェックが ON の場合に、同じカナの枝番が複数発生すると、科目設定の枝番残高登録画面と科目選択の並びが違ったのを修正しました。
科目設定の枝番残高登録と同様に、同じカナは枝番順で表示します。
- ④一括修正で消費税仕訳区分を修正前「消費税精算」にし、右側修正後を「仕訳区分 取消」にして修正開始を押すと 8%の仕訳が 10%に変わっていたのを、元の税率を保持するように修正しました。
- ⑤枝番入力設定が 2 桁になっているマスターで、出納帳入力の基本科目の枝番の入力時、「.（ドット）01」あるいは「.（ドット）1」と入れても入力できなかったのを修正しました。
- ⑥原票マスターで、仕訳入力時に原票を表示しながら上下矢印で送ると途中で不正終了することがあったのを修正しました。（電帳法対応オプション契約のみ）

2) 元帳検索

- ①Delete キーで仕訳削除すると、仕訳修正ダイアログが出てしまう場合があったのを出ないように修正しました。
仕訳入力の F4 入力設定で「伝票形式入力タイプの表示：表示するをオフ」でかつ [F11 貸借修正] を行っている場合、仕訳修正ダイアログが出ていない状態で Delete 押すと仕訳修正ダイアログが表示されていました。
- ②前月より繰越にフォーカスがあるときは [検索一覧 (Shift+Enter)] ボタンが選択不可のグレースアウトの状態になりますが、一部 OS で、マウスオーバー時などにアクティブに一瞬変わっていたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

- ①F11 発生残高、月別発生残高ダイアログから、日別発生残高ダイアログに切替えて、Excel 出力後、プレビュー表示を行うと月別・日別の発生残高ダイアログがプレビューの上に表示されていたのを修正しました。
- ②営業外損益、特別損益科目で仕訳入力し、残高問合せの比較損益画面、又は比較貸借画面を表示後に残高画面に戻すと最後に表示の科目以降の一部又は全部が 2 重で表示される現象を修正しました。
1 科目だけ発生・残高がある大分類または中分類科目が存在する場合、当該分類科目を含む以降の分類科目が所定の操作により重複していました。
- ③残高問合せで F6 条件設定-部門表示方法を科目にして残高タブを見ると、残高発生のあるはずの科目部門の行が表示されなかったのを修正しました。

4) 科目別日別残高表

- ①R3.7.21～R4.7.20 決算の 20 日締めマスターで科目日別残高表、月指定が 12 月（12 月 20 日）までは問題なく表示されるが、1 月（1 月 20 日）を指定すると、各科目の繰越は表示されるが、日ごとの発生が全く表示されないものを修正しました。
月指定で 1 月を選択、その期間が n 年 12 月～n+1 年 1 月のときに発生が表示されなくなっていました。

5) 科目設定・残高登録

- ①新規会社登録・修正・削除の消費税情報タブの、消費税区分集計の枝番を“行わない”でも枝番登録時に消費税区分が反映されるよう修正しました。
下記の事象に関しての対応です。
通信移動のマスター&データ抽出で、枝番残高や枝番名称に差異がないのに【その他送信ファイル】枝番残高の差異にチェックが付くことがありました。
新規会社登録・修正・削除の消費税区分集計の枝番を“行わない”で枝番を作成した際に、科目の消費税区分が枝番に反映されていない状態で作成されており、マスター修復などの処理を行うと区分が反映されるため、その処理を行っているもの行っていないものとで内部的に差異ができていました。

6) 定型仕訳登録

- ①部門コード欄にカーソルを止めると、部門コードを振っていない貸借科目側にも前後の部門が表示され、部門表示も黒字や青字の表示が混ざる場合があったものを部門表示が正しく表示されるように修正しました。

7) 内部取引消去予算登録・配賦金額確認

- ①会計基準令和 4 年改正で行った 27 文字超の決算書科目名称の対応に伴い、勘定科目や分類科目のフォントサイズや印字位置等の修正を行いました。

Ⅲ. 出力

1) 総勘定元帳

- ①損益勘定元帳の直前の科目の最後の仕訳が金額 0 円の仕訳の状態で損益勘定元帳を出力すると、それらの元帳の摘要欄に金額 0 円仕訳の摘要が複写され、借方科目や貸方科目、金額が出力されない状態になっていたのを修正しました。
②予算登録⇒F9: 予備費から入力した前期末支払資金残高があっても、部門予算元帳が出力されていなかったのを、「未発生科目の出力を行う＝ON」のときは、出力されるように対応しました。

2) 試算表

- ①貸借サインが違う科目の集合で、枝番表示の金額が正しく集計されていなかったのを修正しました。

3) 比較・推移表

- ①F6 項目登録で「Excel 出力で全科目を出力する（自動のみ）」にチェックを付けて、F3Excel 出力しても全科目が出力されていなかったのを修正しました。（3-2 比較収支推移表以外の全帳票）

4) 消費税元帳

- ①伝票番号の出力桁数の設定が反映していなかったのを修正しました。

Ⅳ. 決算

1) 決算書

①顧問先情報の登録で、基本情報 2 タブの代表者情報を入力しても、顧問先に紐づいているマスターの決算書の F6 項目登録内に連動されなかったのを修正しました。

※顧問先情報の登録で、一括転送を行ったときを除きます。

○連動箇所

顧問先情報	決算書
代表者氏名	F6 項目登録-代表タブ 氏名(上部リスト 1 行目)
代表者役職名	F6 項目登録-代表タブ 取締役名(上部リスト 1 行目)

②計算書類に対する注記「8. 担保に供している資産」において、債務名が翌期に繰り越されない件を修正しました。

③会計基準令和 4 年改正で行った 27 文字超の決算書科目名称の対応に伴い、勘定科目や分類科目のフォントサイズや印字位置等の修正を行いました。

※内訳表、附属明細書、就労支援事業関係別紙出力業務でも同様の対応を行っています。

以上